

合気道学校 令和7年度 後期修了式



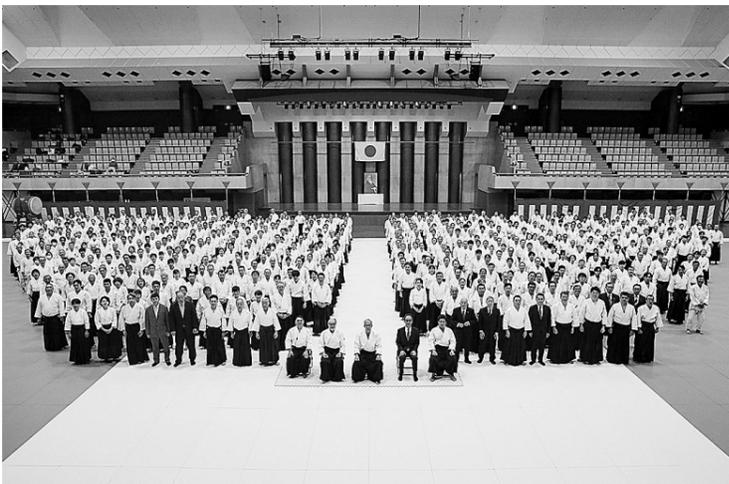
植芝道主より証書を授与される



植芝道主を中心に



植芝道主による入身投げの指導



植芝道主を中心に記念撮影

晴れて
上級24名、
中級12名、
初級13名

合気道学校令和7年度後期修了式は、上級課程が2月20日、中級課程が2月25日、初級課程が3月19日に行われ、合気道学校・植芝守央道主をはじめ各課程の担当者が列席した。
植芝道主は「半年間学んだことをこれからはしっかりと継続し、合気道をおして心身の鍛錬、和合の精神を社会生活に活かすことのできるよう頑張ってください」と激励の挨拶を述べた。
各課程の修了者は、上級課程24名、中級課程12名、初級課程13名で、修了者は植芝道主より修了証を手渡された。
また、各課程の昇級、昇段審査の合格者には免状が授与された。

東京都連40周年記念 特別講習会に84団体

東京都合気道連盟40周年記念大会特別講習会は、道徳成大会特別講習会は、植芝守央道主、植芝充央本部道場長をお迎えし、昨年12月14日、東京・綾瀬の東京武道館大武道場において、都内加盟団体84団体、本部道場はじめ近隣の県から600人を超える参加者を迎え、盛大に開催された。
開会式では、井阪有一理事長による開会の宣言、国歌斉唱、藤城清次郎顧問による主催者挨拶、その後、植芝道主からお祝辞をいただいた。都連の初代理事長を道主が務めたこと、紹介があり、これまでに六代に亘る理事長を経て現在に

たっていること、都連は各加盟団体の相互の融和と親睦が図られ、しっかりと稽古を続けてきたことが今日の加勢177団体となった礎であること、またこれからは稽古を通じて良いものを良いかたちでつないでいくことが大切であるとお言葉をいただいた。その後、東京武道館の寺内定雄館長からも祝辞を頂戴し、来賓

紹介、祝電披露ののち、道主・道場長による講習会が開始された。
講習会は入身、転換、丸い動きといった基本的な動きとして呼吸法、すべての技がこれらを使ってできていくこと、それが様々な技につながることを、見取りを通じてお示しいただいた。途中、阿吽の呼吸で道場長に交代され、道主・道

場長に花束が贈呈され、大きな拍手が贈られた。小柳副理事長による閉会の辞により、練成大会は幕を閉じた。その後、東京・日暮里のアートホテル日暮里ラングウッドに場所を移し、同じく40周年記念の祝賀会が17時半より開催された。参加者は150人を超え、満員御礼の賑いであった。
会に先立ち、道主、林典夫合気会常務理事、尾崎响全日本合気道連盟相談役よりお祝辞を賜り、道主・道場長含む代表5名で鏡開きが披露された。奇しくもこの日は開祖植芝盛平翁の誕生日であり、そのこともあわせて乾杯を行った。会場は道主・道場長への御礼や記念撮影の長蛇の列、団体を超えた親交の場となり、あらためて合気道のつながりに深さや広がりを感じた。あつた。こちらも時間も忘れて2時間であり、最後は、記念行事にかかわっていただいたすべての皆様への感謝の言葉とともに締めくくられ、閉会に幕を閉じた。



毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162-0056)
公益財団法人 合気会
(合気道本部道場)
編集人 可児 晋
電話03 (3203) 9236(代表)
FAX 03 (3204) 8145
購読料
1ヵ年 2,800円
郵便振替
00150-0-49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌
取りまきし
檜の林に
入るときは
小盾は己が
心とぞ知れ

第63回全日本合気道演武大会
第63回全日本合気道演武大会は、5月23日(土)、東京・千代田区の北の丸公園内の日本武道館で開催されます。
当日は午前11時開場、正午開会、午後5時閉会の予定。一般の参観者歓迎。入場無料です。
〔個人演武〕植芝守央道主、本部道場師範、登録道場師範らが出場。
〔団体演武〕本部道場、登録道場、社会人団体、学生連盟など約7千5百名名が出場。
主催(公財)合気会 協力(公財)全日本合気道連盟
後援(昨年度実績) 二 二 スポーツ庁、東京都(公財)日本武道館、NHK、日刊スポーツホールディングス

合気神社大祭
「合気神社大祭」(植芝家主催)は、4月29日(日)、神事の後、植芝守央道主の挨拶、奉納演武が行われ、正午過ぎに祭典は終了する。その後、直11時から大祭、開祖慰霊会が開かれる。
偲ぶ会
合気会は恒例の「開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会」を4月25日の午後7時から本部道場で開催する。開祖と吉祥丸二代道主を偲ぶ映像を上映する予定。

入身転換
稽古をしていて久し振りに汗をかいていた。梅の花も散り始め、一段と春めいて来たようだ。
先月は冬のオリンピックで日本選手の活躍が目立ち、中でも「りくりゅう」ペアの活躍に感動した。
そんな平和の祭典である冬季オリンピックが先月終了したばかりである。余韻に浸っていたところ、イスラエルと米国の攻撃を始めたのは驚いた。数日前にイランと米国が核開発をめぐる協議をジュネーブで行っており、次回を一周間後に行うと報道されていた。

イランでは1979年のイスラム革命で現政権が誕生した。筆者はこの革命前から度々イランを訪れていた。特に冬から春に訪れていた。この時期は強く印象に残っている。三月はノウルースと呼ばれるお正月を祝う大切な時期である。十二月末から続く寒い冬が終わり、一ヶ月ほどの短い春を人々は楽しむのだ。昨年末から反政府活動のデモが起きていて参加者が弾圧されていたといえ、武力攻撃は遺憾である。
イランは反撃を始め、ペルシヤ湾周辺の米軍基地のあるアラブ諸国に攻撃を行っている。本稿執筆の時点ではペルシヤ湾入り口のホルムス海峡もイランによって封鎖されたようだ。
今回の事象が長引く事になればエネルギー価格の高騰に繋がり世界経済への影響は計り知れない。
日本は重要なエネルギー源である原油や液化天然ガスをペルシヤ湾からタンカーで輸送している。日本にとっては死活問題になりかねない。また、エネルギー価格の上昇は物流コストを含め更なる物価上昇に繋がる。早期解決を願って政府の外交努力に期待したい。
(可児 晋)

同世代交流講習会



植芝本部道場長を中心に

令和7年度合気道同世代交流講習会は昨年12月20日から21日の2日間、植芝充央合気道本部道場長の指導のもと、静岡県下田市の観音温泉にて行われた。本講習会は公益財団法人合気会の主催であり、今回が2回目の開催である。

参加者は20歳以上35歳以下の若年層に限定され、若手合気道修行者が稽古を続けていく環境を整えるために、稽古を通じて同世代との交流を図ることを目的として開催された。参加者を全国から募り、22都府県から71名が参加した。そのうち29名は昨年からの2年連続での参加であった。

20日、会場到着後に参加者全員で畳を敷き、その後開講式が行われた。開講式

では植芝本部道場長が挨拶を述べ、参加者は講習会に臨む気持ちを新たにされた。参加者は植芝本部道場長の指導を注視しつつ、活気ある稽古を行った。また、下田合気会で稽古されている松木正一郎下田市長の表敬訪問を受ける場面もあった。

稽古後は、温泉に浸かり稽古の疲れを癒した後、懇親会が行われた。近い年齢同士の懇親会であったため、とても活気があり、参加者はより一層相互の親交を深めることができたのではないだろうか。

21日は、朝に1時間、午前に1時間半の稽古が行われた。参加者は体力の出し惜しみをすることなく、全力で稽古に取り組み、皆汗を輝かせながらお互いを高めあった。その後、昼食を取った後、閉講式が行われ



植芝本部道場長を中心に

本講習会は終了した。参加者は2日間の同世代の合気道修行者との稽古を通じて、合気道への理解を深めるだけでなく同世代との「横のつながり」を深めた。

公益財団法人合気会が2月5日、フランス語婦人会からの要請を受け、「伝統との出会い」プログラムとして、植芝充央本部道場長による特別講習を実施した。

参加者は29名。フランス語婦人会は在日フランス語圏出身者およびフランス語話者の女性で構成され、日本文化への理解促進を目的に活動している。

講習の冒頭、植芝道場長は合気道の理念と成り立ちを紹介した。合気道は開祖・植芝盛平翁が多くの武術と精神的修養を重ねる中で創始した武道であり、「真の武道とは強さを競うものではなく、自らを成長させるものである」という思想を基盤としていると説明。また、合気道の大きな特徴として試合がない点を挙げ、勝敗ではなく互いを尊重しながら心身を鍛えること

とを重視していると述べた。続いて、稽古の手法を示し、相手の動きに応じて冷静に対応するための日々の稽古の重要性を解説した。この日は特別に総合演武も披露され、演武が稽古の延長線上にあるもので、演武のために稽古をしているわけではないという合気道の考え方も紹介された。

歴史紹介では、盛平翁の生涯と合気道創始の背景、吉祥丸二代道主による戦後の普及活動など、合気道が世界140の国と地域へ広がった要因が語られた。特に第二次大戦の空襲下でも本部道場が焼失せず、東京で稽古を継続できたことが、合気道の世界的な普及振興に大きく寄与した点が

強調された。最後に、合気道は日本の文化的背景の中で育まれた武道であり、「お互いさま」の精神や感謝の心が根底にあることを伝えた。植芝道場長は、植芝守央道主のも

とで修行を続けながら合気道の本質を広く伝えていく決意を述べ、講習を締めくくった。質疑応答では多くの質問が寄せられ、合気道と日本文化への理解を深める有意義な機会となった。

ただでなく、岐阜、三重、静岡県から140名を超える道友が参加し、休憩時間も惜しみ約2時間の稽古が行われました。宮本師範は、「植芝先生から学んだ技を基本にしているがそれは自分の解釈がはいっていること。また、各指導者の考え方による違いを認めながらも、それが各指導者の個性となっており、合気道の稽古を積み重ねてきたことが、世界に広まった理由の一つではないか」と述べられ、柔道場2面の広さの中ではありましたが、片手取り、正面打ち、後ろ両手取り等の立・座技の基本技に活用技も交え、活気あふれる稽古となりました。また、参加者は、記念講習会を通じて親睦を深めるとともに、初心に帰り基本技の大切さを再認識し、笑顔で帰路につきました。(大府初心塾 馬淵光浩)

大府初心塾40周年

名古屋合気会大府初心塾(代表・鷹羽保夫)は、宮本鶴藏本部道場指導部師範をお迎えし、昨年12月14日、名古屋露橋スポーツセンターにおいて、創立40周年記念講習会を開催しました。

開会式では、40年の節目に宮本師範をお迎えして講習会が開催できることへの感謝の意を表す主催者挨拶の後、名古屋合気会代表の田代文吾先生並びに同師範からのお祝いのお言葉をいただきました。

当日は、朝まで雨が降っておりでしたが、午後には晴天となり、記念講習会を祝うかのような天候でした。講習会には、愛知県下

開祖の言葉



心身統一をして、それから更に進んで、そして技の発兆の土台となる。それは念で技が無限に発兆するのである。技は宇宙の法則に合していなければならないことはいまでもない。それには正しい念がなければならぬ。この念で正しい

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

守り清めなければならぬ。宇宙の法則に正しく、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

念を五体から宇宙と結びつけ、同化して生死を超越し、宇宙の中心に立つことである。このようにして出た技は、愛のめぐみの技となるのである。これが結びはヒビキ。それは五体のヒビキであるアウンの呼吸である。これは千変万化するもので

妙な妙用である。技は五体のヒビキと宇宙のヒビキと結び、千変万化するものであるけれど、吾々は五体のヒビキから光と熱と力を生じさせるような稽古をし、宇宙のヒビキの中の空に技を生み出していくことはいけない。又、念

は宇宙と争ってはいけない。気が折れるからである。五体の念は、宇宙から切り離しは考えられない。宇宙と争う念を起すと、必ず身を亡ぼすのである。

念の研鑽は、自己の意識の二元を知り、総べての中心を確立しなければいけない。(昭和43年5月号)

この行事を機に久々に道衣に袖を通した帯の姿も見られた。海外でも精力的に活動する関師範の教えは国際色豊かだ。イタリア

出身のファッションモデルのほか、海外からはルーマニア合気会会長、フランス出身の元大手企業経営者、ブラジルの医師も駆けつけた。初対面でも畳の上では目線は同じ。呼吸を合わせ互いの動きを感じ、約2時間の限られた時間のなかで技術を高め合った。

その後、新宿区内に会場を移し開いた祝賀会には約60人が参加した。冒頭、関師範は祝辞で、25歳の若さで同クラブの指導を始めた当時を振り返り、「50年間続け、海外の指導も日本の指導も、やっと楽しいと思うようになってきた。この歳まで合気道を続けてき

が、本心よかったです。そう思った瞬間になったのは、日経の稽古に若い時

ら関わってきたことが大きい。いつも朴訥(ぼくとつ)で口数が多くない関師範が、滔々(とうとう)と語った思いに胸を熱くし、参加者全員が感謝の思いで祝賀の杯を交わした。

同クラブは昭和50年に一木豊氏(故人、日本経済新聞社元専務)らが設立し、同年7月4日に発会式を開いた。日経の旧本社第二別館の地下にあった武道場を拠点に活動を始め、武道場の取り壊しや新型コロナウイルス感染症の蔓延といった試練を乗り越えて、創設50周年を迎えることができた。

関師範とともに諸先輩方がつないだこの灯をたやすことなく、次代へ継承していきたい。(鈴木菜月)

心身統一して総べての土台を

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、

稽古をつまなくはいけない。稽古は自己の念を我欲に結んだら向上はあり得ない。邪道である。念は止まることなく歩むのである。吾々は、この念を研ぎ澄まし大いに活力をつけ心身を統一すべきである。そして宇宙生成化育の道の本旨を受けて、頭、



関師範を中心に参加者たち

日経クラブ創立50周年

日経合気道クラブは令和7年11月29日、創設50周年記念行事を開催した。東京都渋谷区内の武道場で開いた稽古会は、創設から50年間一貫して指導いただいている関昭二本部道場指導部師範のもと、部員や国内外の友好団体関係者ら計30人ほどが参加した。相半片手取り一教といっ

た基本技をはじめ、受けを前方へ投げる呼吸投げなどで、関師範が多くの参加者に回り、一人一人の手を取って指導した。

参加者の合気道歴や、年齢、職業、国籍といったバックグラウンドは様々。入

巡回指導

合気会主催

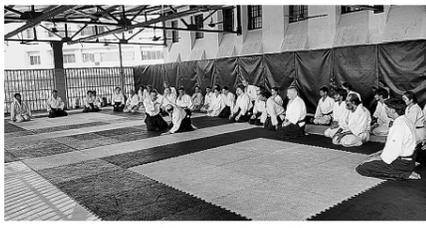
インド

私(入江)は2月12日から16日まで2025年度インド巡回指導(合気会主催)でインド共和国タミル・ナドゥ州チェンナイを訪問した。

講習会の主管は地元の合気道チェンナイ(ゴータム・ラマナス代表)。インド巡回指導は、テリ、ムンバイ、チェンナイ3都市で主管を持ち回り担当している。

日本の小学校低学年から中学生に相当する生徒約70名が参加した。目を輝かせて無邪気に取り組み子供たちから元気をいただいた。

同日午後から日曜日まで市内の格闘技練習場を会場に講習会が始まった。講習会では両日で4回の講習と段・級審査が行われた。参加者は地元チェンナイはもとよりムンバイ・テリ・ボンベイ・プネーの都市から40名ほどが参加した。本部道場からも3名が参加し交流稽古



入江師範の指導

12日夜11時シンガポール経由でチェンナイ空港に到着しエラン・カティラヴァン指導員の出迎えを受けた。

翌13日午後10時に市内のアルシャウイジャ・セルヴァム・マンディール学校を訪問し合気道の体験授業を行った。

講習会では審査出題技を確認し基本技は何度も繰り返し稽古を行った。審査は五級から参段まで13名が受審し、全員合格した。

インドの合気道人口は国の人口に比べるとまだまだ普及されていないが、愛好者の熱意が、巡回指導を継続して地道な普及に努めることが大切であると強く感じた。

講習会終了後の食事で参加者のくつろぎ和やかに歓談する姿を見てこちらもホッとしました。来年度の開催地はムンバイである。(本部道場指導部師範 入江嘉信)

タンザニア

鈴木俊雄本部道場指導部師範と私(桑原)は、合気会巡回指導の一環として、

講習会終了後の食事で参加者のくつろぎ和やかに歓談する姿を見てこちらもホッとしました。来年度の開催地はムンバイである。(本部道場指導部師範 入江嘉信)

も、この調整会議が実り多きものになりますことを願っています。

続いて岡本理事長が「今日この日を迎えるに当たり、合気会とIAFの両方のサイドで皆様の時間と努力をいただいていることに感謝申し上げます。ご覧のように道場が素晴らしい会議室に生まれ変わりました。私たちが法人を設立して、初めての会合です。より堅実で建設的な会合が進むことを願っています。次のステップに向かって、しっかりと土台を作れるような会議にしたいと思っております。ありがとうございます」と挨拶を行いました。

会議では2025年におけるIAFの活動状況や今

地中海3カ国講習会

私(野本)は、当会(里見八頭会)の瀬谷吉郎五段を伴い、令和7年11月22日から27日にかけてサンマリノ、マルタ、イタリアで講習会を行った。

最初にイタリアの中東部にあるサンマリノ共和国に入った。サンマリノは東京23区の10分の1のミニ国家であり、世界最古の共和国でもある。責任者モンテベッキ六段の歓迎を受け11月22日、23日の2日間に計6時間わたる講習会を終えた。遠く南イタリアからの会員も含め、参加者は百名を超え、たいへん活気のある講習会であった。

翌日はポロニア経由でマルタに入った。地中海の宝石と呼ばれる、風光明媚な島である。マルタは今回で5回目の訪問となる。責任

者ボナンノ氏の迎えを受け、11月24日と25日の2日間の講習会で延べ40名が参加、審査もあり、2名が初段に合格した。

また、この講習会に駐マルタ山口忠彦臨時大使にご臨席いただき、日本から遠く離れた地中海の地で合気道普及に貢献していることに感心していただいた。

三カ国目の講習会は11月26日、シチリア島の東に位置するカタニアで行なわれた。遠くパレルモからも大勢参加し、50名を超えた。ここは有名なエトナ山のもとに当たるので、翌日はエトナ火山歩行訓練まで加わり、三カ国すべて、誠に充実した内容の講習会であった。(里見八頭会師範 野本純)

梅津師範の稽古は基本の体捌きを確認しながら、基本技を中心に指導された。8日はブロンペン王立大学で行われた「絆フェスティバル」で演武と体験稽古が行われた。「絆フェスティバル」は日本とカンボジアの文化交流を目的とし、日本大使館、国際協力基金、ブロンペン王立大学などが共催し行われるイベントで、合気道のほかに剣道、空手道、カンボジア伝統武術であるポックアタオがそれぞれあるポックアタオが行われた。カンボジア合気道協会の発展に尽力された金子信一氏が日本から駆け付け、同じく元JIC Aシニアボランティアで、現在シエムリアップで指導されている森修一氏も参加された。

7日には審査が行われ参段1名が合格した。

講習会にはカンボジア合気道協会の会員がブロンペン、シエムリアップから約20名が参加した。また、JICAシニアボランティア(独立行政法人国際協力機構)として長年カンボジアで活動している合気道協会の発展に尽力された金子信一氏が日本から駆け付け、同じく元JIC Aシニアボランティアで、現在シエムリアップで指導されている森修一氏も参加された。

講習会にはカンボジア合気道協会の発展に尽力された金子信一氏が日本から駆け付け、同じく元JIC Aシニアボランティアで、現在シエムリアップで指導されている森修一氏も参加された。

カンボジア

令和7年度巡回指導に梅津合気道本部指導部師範と私(セシナス)は、カンボジア王国、ブロンペンに派遣された。

2月5日から7日にかけて、ブロンペン国立オリンピックスタジアムにある武道場にて講習会が行われた。

講習会にはカンボジア合気道協会の会員がブロンペン、シエムリアップから約20名が参加した。また、JICAシニアボランティア(独立行政法人国際協力機構)として長年カンボジアで活動している合気道協会の発展に尽力された金子信一氏が日本から駆け付け、同じく元JIC Aシニアボランティアで、現在シエムリアップで指導されている森修一氏も参加された。

講習会にはカンボジア合気道協会の発展に尽力された金子信一氏が日本から駆け付け、同じく元JIC Aシニアボランティアで、現在シエムリアップで指導されている森修一氏も参加された。

演武大会賛助会費のお願い

(公財)合気会では「第63回全日本合気道演武大会」の開催に際して賛助会費のお申し込みを下記のようにお願いしております。

記
会費：1口(1万円)以上
申込先：(公財)合気会
〒162-0056 東京都新宿区若松町17-18
電話 03(3203)9236
三井住友銀行新宿通支店 当座1015007
郵便振替 00150-0-49527

公益財団法人 合気会



日野師範の指導に耳を傾ける

業での注意事項だけでなく、各道場で初心者指導の際にも役立つ指導法などを熱意あふれる形で指導頂いた。さらに、普段の指導において疑問に思っている点について参加者からの質問にも親身にお答え頂き、一同は実際にそれらの指導法の動作を体験しながら数多くの知見を学ぶことができた。

立木教授による講習は、熱中症に関するお話、および脳震盪などの外傷に関するお話をご指導頂いた。日野師範による講習と同じく、これらの内容も単に中学校での授業のみでなく、日常の稽古においても問題になる所であり、指導者のみでなく稽古を行う者全てが理解しておくことが望ま

しい内容であった。参加者一同は普段なかなか知ることが出来ない、しかしながら大変重要な内容について多くの学びを得ることができた。

連盟として、講師の先生方を外部からお招きして中学校の武道必修化に関する講習を行うのは初めての事であったが、学ぶ所が大変に多い有意義な講習会を開催できたのではないかと考えている。こうした講習会や演武会などを通じ、県内での合気道の発展につながるよう努力していきたい。(神奈川県合気道連盟事務局長 山本洋)

1月22日、東京武道館(東京都綾瀬)にて令和7年度第5回合気道広域合同稽古が行われた。日野師範本部道場指導部師範による1時間半の稽古に、東京や神奈川県から54名が参加した。

日野師範は基本技を中心に、単独での体捌きも確認しながら稽古を行い、整理体操で締めくくった。

庵野素岐(合気道紀州熊野合気会会長) 2月1日逝去。享年94

オンラインでIAF連絡調整会議

令和8年2月17日、合気道本部道場四階道場にて、(公財)合気会内に設置されているIAF(国際合気道連盟)連絡室とIAFとの間で毎年恒例の連絡調整会議がオンライン形式で行われた。

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

総長、佐藤純一顧問が本部道場の会議場で参加。アダム・マニコフスキー副理事長、コリー・ヒューマン事務総長、チャールズ・マクギニス理事、ゲルク・パスカレット理事

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

総長、佐藤純一顧問が本部道場の会議場で参加。アダム・マニコフスキー副理事長、コリー・ヒューマン事務総長、チャールズ・マクギニス理事、ゲルク・パスカレット理事

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

総長、佐藤純一顧問が本部道場の会議場で参加。アダム・マニコフスキー副理事長、コリー・ヒューマン事務総長、チャールズ・マクギニス理事、ゲルク・パスカレット理事



植芝道主による挨拶

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務



野本師範を中心に

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

合気会からは、植芝守央合気道道主・IAF会長、植芝充央本部道場長兼IAF連絡室長、林典夫(公財)合気会常務理事をはじめ、IAF連絡室と国際部の職員が出席。IAFからは岡本洋子理事長、加賀聡財務

各道場の昇段者

令和8年1月15日～
2月9日
(公財)合気会登録

【四段】

◆蓼科道場＝和田潤◆笠間市スポーツ協会合気道部＝小堤晶子◆水戸合気会＝小林純郎、鬼沢祐二◆横浜国際合気道会＝大森秀和◆武修館道場＝長森隆介◆春水道場＝落合康裕◆尚武館＝森上奈子◆A.K.I.＝V. Ursino, E. Arias, J. Pacahuala◆祥平塾＝吉村純子、加藤貴之、矢野慎平、中田喜廣、宮崎真理子、堀内久美、徳永真奈美、C. Stephane、田淵富三、廣田啓一郎、剣持英男、島田太一◆A & P石垣道場＝小林八尋◆合気道洗心館＝野崎美保◆大阪武育会＝M. Gothuey, P. Vogel, D. Tshering◆奈良合気会＝田中千嘉◆札幌合気道会＝日浦和長、菅原敏幸◆北総合気会＝越智和隆、山下太祐◆今治合気会＝徳永千佳、村上孔介◆野比道場＝モントゴメリ・サミュエル◆萬葉塾＝磯貝重信、桐生敦史◆藤枝合気会＝川瀬聡◆清心館道場＝宮崎尚泉◆合気道昭心会＝E. Khoo◆岩手山麓合気道日高道場＝大沢和義◆つくば合気道会＝中尾智子、大岩拓実◆合気道木部道場＝小早祥一郎◆合気道自然会＝藤田昭治◆HIJYAMA教室＝元岡江美◆愛媛大学医学部＝中村和◆DENMARK＝F. Heinsøe◆U.S.A.＝G. Minasov, J. Bass, P. Hsu, R. Yamada, K. Cunningham, A. Sandberg, A. Cheval, L. Rojas◆AUSTRIA＝H. Andexer, B. Hackl◆GERMANY＝M. Bachem, N. Downes◆SLOVAK＝J. Dudasko◆SPAIN＝A. Rojo, R. Aparicio, F. Ruiz, J. Arman◆MOROCCO＝R. Rikaoui◆ITALY＝M. Seri, D. Iadonisi, E. Cantagalli, A. Sieni, F. Argenti, C. Iannettone, M. Cesari, C. Carini◆AZERBAIJAN＝M. Musayev◆POLAND＝G. Opyd◆MEXICO＝J. Silva◆SWITZERLAND＝L. Zimmermann, P. Baur◆BRAZIL＝R. Franca, M. Costa, J. Mattos, R. Mesquita, F. Oliveila, D. Ribeiro◆BULGARIA＝T. Tanchev, V. Mitev, G. Ivanov, I. Ivanov, I. Peev◆SRILANKA＝J. Sugath◆FINLAND＝P. Rantala◆HUNGARY＝L. Steiner, T. Steiner◆中華民国台湾＝王信堂、陳裕政、史福淵、高建銓、許智超、李蘭君◆BELGIUM＝T. Carrein◆ROMANIA＝I. Ghinea, C. Trandafir, F. Lit◆ITALY＝A. Yoshida◆RUSSIA＝A. Shpilev◆ARGENTINA＝G. Schonfeld, G. Patrono, E. Burraco, V. Huder, J. Batista, A. Szabo, G. Muller, F. Britos, A. Sharykau◆LIECHTENSTEIN＝K. Lehmann, G. Sandholzer

【三段】

◆A & P合気道田口道場＝石井辰明、佐々木碧大◆可児カレッジセンター合気道教室＝牧野宗仁◆合気道西大和会＝加藤優貴◆参同会合気道京都＝C. Kayser◆澤合気道クラブ＝赤荻浩人◆笠間市スポーツ協会合気道部＝中村直人◆山口合気会下松道場＝吉田晃市◆花見川道場＝小林淳子◆戸塚合気道教室＝安西美幸◆幸優氣会＝横山博行◆合気道佐久道場＝菊池隼介◆A.K.I.＝A. Muguruza◆祥平塾＝杉森了二一、山口稔智、小田公平、岸田淳、久保順也、春山隆行、有田幸司◆いわき合気会＝佐藤祐大◆合気道新日本祥栄会＝河野俊治◆相生会神戸三田道場＝村田拓郎◆神武館＝三谷ゆり、櫛部七海◆A & P石垣道場＝北爪夏寿、吉野豪留、大村守◆大阪合気会＝小松茂諒、伊藤剛、吉原聡、門嶋祐樹、加藤珠世、宮林由希◆大阪武育会＝P. Mercurio, L. Bandini, A. Palma, P. Piccione, 高橋和郎◆合気道浦和尾又道場＝山本浩揮◆島田合気会＝高須淳◆合気道道文館＝水野友和、笹島功揮◆富山合気会＝山本剛士◆成田合気道友会＝飯田美佳◆萬葉塾＝中原光宣、鈴木信平◆一修会(守山区合気道スポーツ少年団)＝鍋飼智子◆合気道徳高道場＝安達隆則、杉村和江◆あさひ会＝松原淳也、田中秀明◆三重合気道会＝山崎裕二◆合気道鹿沼教室＝青島正佳◆仲池合気道同好会＝狩野文希、菅原章弘◆岩手山麓合気道日高道場＝小笠原康偉、菅原博◆荒川合気道同好会＝田中仁太◆つくば合気道会＝大藤誠◆合気道入江道場＝松浦純大、佐口隆成、田中文昭◆相生会合気道尼崎道場＝春真奈美◆倉吉合気会＝宮本圭子◆合気道西神道場＝花本貴博、浅田正則◆合気道泉会＝瀬戸口智靖◆合心館合気会＝野村淳◆HIJYAMA教室＝勝浦彰仁◆中央大学＝渡邊祐哉◆GERMANY＝S. Blumann, C. Weigelt, G. Molt◆LEBANON＝G. Hajj◆DENMARK＝J. Pedersen, N. Robenhagen, G. Indruszewski◆BRAZIL＝E. Santos, D. Cataia, J. Fan, M. Bem, I. Santos◆AUSTRIA＝M. Germadnik◆U.S.A.＝C. Garrett, T. Roller, S. Martinez, S. Lark, C. Robinson, R. Lefebvre, M. Moses, サルパトール史恵, R. Hedgcoth, S. Orcutt, E. Stromberg, S. Kruger, B. Gadsby, K. Tani◆SPAIN＝J. Gonzalez, A. Calatayud, S. Fernandez, P. Garcia, M. Alejos, J. Gelabert, F.

Moreno, G. Gonzalez◆ITALY＝M. Saccutelli, G. Mambelli, J. Gonzalez, G. Joubert◆DENMARK＝H. Jakobsen, M. Kranker◆PUERTO-RICO＝J. Morales◆POLAND＝D. Szlag, R. Zielinski, T. Obuszko◆NETHERLANDS＝M. Aulia◆GREECE＝G. Mandalis◆SWITZERLAND＝E. Craighero, S. Wegmann, M. Laffranchi◆BRAZIL＝R. Vieira, R. Vian, L. Maria, R. Albert, W. Moura, H. Kanashigue, G. Amadi, J. Abreu, S. Ushiwata, J. Amaral, A. Francisco, C. Campos, E. Duarte, J. Ferreira◆BULGARIA＝M. Traykov, A. Valkov◆U.K.＝M. Lapham◆HUNGARY＝A. Obiczki, J. Bara, J. Hetei, B. Toth, C. Szabo, L. Csorba◆SINGAPORE＝T. Kinh◆BELGIUM＝C. Devos, M. Haelen◆ELSALVADOR＝A. Medina◆ARGENTINA＝D. Melo, D. Campora, N. Sosa, E. Demo, J. Cabrera, R. Medina, F. Trabadelo, D. Minambres, K. Zielman, E. Rescigno, R. Sonderegger, P. Congrad, G. Paget◆FRANCE＝D. Ducarre, M. Corre◆SWEDEN＝T. Jensen◆CANADA＝E. Pelikh

【二段】

◆A & P合気道田口道場＝谷口恒人◆A & P合気道大関道場＝田中一也、田村正子◆合気道西大和会＝安田幸平◆館山若潮合気会＝水島孝夫◆参同会合気道京都＝A. Gerchikov, 猪股諒, M. Thanh◆曙合気道クラブ＝飯野利明◆笠間市スポーツ協会合気道部＝鈴木和代◆横浜国際合気道会＝橋口佳奈、森田浩一郎◆氣流会＝山畑仁人◆合気道広島会＝折口学◆東広島合気会＝藤原文也◆合気道佐久道場＝森山克実◆順風会＝中野誠太郎◆A.K.I.＝P. Arias, D. Arias, D. Barrios, K. Bizzo, T. Biderman◆祥平塾＝平本周一郎、江崎美貴、渡邊厚子、城崎由紀、山崎耕一郎、池田博美、今隆雪、工藤慎也、吉田祥嗣、岩崎裕次、宮川藍、内野哲哉、内野忍◆相生会神戸三田道場＝青木美穂、藤原まな◆神武館一竹内太◆A & P石垣道場＝王慧楠、林秀怡、伊藤琉伽◆千葉合気道館＝小野田真樹◆船橋合気道友会＝畠山雄志、布施実和子◆大阪合気会＝河野正弘、森純子、萩原克志、萩原真理子、石橋弘康、石橋孝晃、松本朋幸、河合和彦、下藤諒◆大阪武育会＝P. Barbiera, R. Vella, R. Cabreja, M. Candon, R. Pratap, 黒本伸治、脇田康史、伊藤大晴、衣笠ふたば、宮崎政樹◆武蔵野合気道教室＝大塚廣康、大西由美子◆合気道道文館＝上野剛、竹田剛◆奈良合気会＝満間綾子、奥口信行◆富士通＝田中直幸◆麻布道場＝壁谷英薫◆和歌山小倉道場＝三木麻衣華◆藤枝合気会＝小林圭介◆一修会(守山区合気道スポーツ少年団)＝澤田大助◆鐘ヶ淵合気道クラブ＝篠澤正行◆合気道鹿沼教室＝有馬みゆき、相場清人◆清心館道場＝服部有里◆合気道昭心会＝Y. Cheng◆岩手山麓合気道日高道場＝武蔵野、青柳智明、佐藤昭宏◆つくば合気道会＝阿部悠里◆合気道入江道場＝岡田未暖、三澤葉子◆相生会合気道尼崎道場＝大橋竜晴◆合気道誠武館＝氏原辰徳◆合気道西神道場＝名田隆太◆明石合気道同好会＝井上弦◆相生会にしのめ合気道クラブ＝水守亜季◆合気道国府C l u b＝山本瑠南◆飯田合気会＝平栗奈津代、中藤健滋、石原康仁◆彩昭会＝長南愛、若林勇治◆白山合気道鳴声会＝飯野亮太◆川中島合気会＝岡田俊弘、落合貴喜◆旭川道場＝遠藤桂◆四天王寺高等学校＝森木乃美、平野裕子◆高崎経済大学＝松井颯太◆上智大学(ソフィア合気会)＝鳥居涼里◆神戸大学医学部＝藤井いまり◆中央大学＝佐々ひかる、岡陽太、矢崎快◆京都大学体育会合気道部＝西田侑司、中村魁士、永井亜弥◆龍谷大学体育局合気道部＝酒井瑠大◆関西大学体育会合気道部＝清水大尊◆立命館大学体育会合気道部＝加藤大和、佐々木龍輝◆同志社大学体育会合気道部＝緒方彦之右、乾圭祐、丹羽由香里、小西勇那◆DENMARK＝T. Jensen, R. Zarecki, J. Fiil◆BRAZIL＝G. Cancado, B. Hissatugu, G. Medeiros, M. Correa, V. Neto, A. Schindler Jr., A. Reboucas, V. Santos, J. Meirelles, A. Motta, E. Ferreira, R. Ramos, J. Viananeto, S. Filho, F. Rabelo, F. Gottlieb, L. Ody, E. Gaion, L. Farat Jr., O. Silva Jr., H. Ien, チアゴ・ポノミ・バルビ、C. Ramos, J. Vasconcelos◆AUSTRIA＝D. Harder◆U.S.A.＝M. Wright, P. Przystupa, B. Bloch, R. Rao, C. Cameron, R. Hart, M. Haway, N. Uyema, T. Kendris, D. Bermudez, P. Weyand, D. Fish, D. Adamson, S. White, D. Rose, L. Briz◆TURKEY＝T. Fadiloglu◆RUSSIA＝S. Kal'Ko, A. Petkevich, V. Akimova, D. Frolov, I. Dmitriev, V. Mekhedov, V. Maltsev◆GERMANY＝A. Sonntag, K. Tereshenkova, R. Wegener, A. Haupt, G. Ahlers◆PERU＝R. Roel◆FRANCE＝A. Sabatier, C. Bernard, T. Boitier, F. Mignot, A. Gauthier◆ITALY＝A.

Barenco, J. Biard, F. Tricoli, G. Salemi, S. Appetiti, D. Viterisi, C. Fabrizio, T. Faujour◆SPAIN＝O. Hermosa, A. Dufrechou, J. Belando, M. Scata, M. Rodriguez, S. Vaque, A. Sochichiu, V. Oliver, F. Lopez, S. Montes, B. Mata, J. Nieto◆AZERBAIJAN＝A. Asadov◆POLAND＝D. Zegiel, A. Calka◆NETHERLANDS＝J. Wojcik, M. Lopes, F. Molinari◆MEXICO＝E. Carranza, R. Gonzalez◆GREECE＝S. Kefallonitis◆SRILANKA＝A. Sundararajan, S. Raman◆FINLAND＝S. Geijer, D. Peller◆HUNGARY＝D. Peller◆SINGAPORE＝T. Quan, D. Huan, D. Wong◆BELGIUM＝J. Paeppe, S. Bogaert◆ELSALVADOR＝L. Quezada◆ARGENTINA＝P. Peralta, R. Suarez, W. Arnaudo, M. Tovar, P. Rossi, C. Munoz, A. Barahona, J. Rios, F. Caliva, L. Fourzans, G. Perona, C. Toledo, H. Gazzola, N. Nimis, E. Michel, C. Berger, G. Sierra, G. Sierra, A. Morozau, S. Lacour, E. Bricdeau◆CZECH＝J. Pitner, S. Ucha◆中華民国台湾＝鄭儒觀, 王文楷◆ROMANIA＝M. Dinu, C. Oltei, F. Ionescu◆SWEDEN＝B. Berglund, F. Chatel◆VIETNAM＝L. Quoc◆CANADA＝A. Semenikhine, L. Connuel

【初段】

◆祥平塾＝唐鵬、甲斐加苗、興膳安以、徳増護、永田直子、高田祥道、小野雅也、三ヶ田智弘、賀来秀真、長本健太郎、稲月茂弥、川上由起子、恒松裕里、津留俊臣、原由佳◆A & P合気道田口道場＝公文菜穂子、野田月、大橋飛翔◆江戸崎合気会＝山岡夢歩◆合気道西大和会＝清水秀之、大田司、更屋幸村◆愛媛合気会＝山田鼓◆参同会合気道京都＝P. Kanduboda◆愛結会＝田島空奈、向和夏、平山紗也◆笠間市スポーツ協会合気道部＝安達史貴、飯塚隆広◆横浜国際合気道会＝末吉ここ音、安部薫◆花見川道場＝田澤基利◆群馬合気会＝上村琉夏◆幸優氣会＝猪瀬毅◆合気道合心館＝桑原菜里◆新所沢合気道同好会＝葦津智恵子◆合気道佐久道場＝茂木輝之◆桜台合気道クラブ＝橋詰力◆合気道士道館＝中山藍、中村優那、加藤千影、山本真巴香、家田紀子、小林涼真◆自由が丘道場＝鮫島健、屬健太郎◆小山合気会＝久保田大介◆尚武館＝富金原悟◆A.K.I.＝C. Viale, B. Velarde, L. Velarde, S. Faugeron, A. Robles◆いわき合気会＝小林老輝◆相生会神戸三田道場＝荒金悠佳、太田裕朗、太田郁子、鳴海佑亮、中條淳、植野昌、安達泰史◆合気道神戸＝長友陽奈◆神武館＝佐藤羽ぬる、阪野光来、島田歩、松浦花倫◆合気道徳志館＝池淵誠、近藤画十、横井敦司◆A & P石垣道場＝神田大輝、舛井早良、河上美保、加藤修◆千葉合気道館＝石津谷有里乃◆大阪合気会＝野島陽子、森永悦子、細川佳範、小山良太◆大阪武育会＝S. Russo, 橋柚花、前川典彦、吉田晴翔◆武蔵野合気道教室＝岡部雅子◆合気道道文館＝舟崎博◆よみうりカレッジ＝横濱＝磯崎晴代◆奈良合気会＝木村啓二、米田優花、林虎徹、林寿心蓮、櫻内万里◆八起会＝野口英時◆富山合気会＝金山裕治◆文京区合気会＝山路郁子◆豊田道場＝高田伸治◆札幌合気道会＝藤田浩平◆北総合気会＝岡田小知子、小原勝彦、鈴木裕美◆今治合気会＝越智優◆明治神宮至誠館＝O. Staroseltsev◆日黒中央体育館合気道教室＝梁川敬介◆合気道徳高道場＝小泉洋美◆あさひ会＝北原若葉◆三重合気道会＝由川智士◆清心館道場＝秋山雄紀◆合気道藤尾又道場＝稲毛ひなた◆合気道昭心会＝坂本光浩, R. Muhammai◆岩手山麓合気道日高道場＝細田鈴、日高虎太郎、中居宏之、福島幹菜◆つくば合気道会＝高野真、林玲、貝塚淳◆合気道入江道場＝岡佑駿◆倉吉合気会＝大石剛史、井垣晴美◆氣流塾＝土谷志保、島田喜博◆津洋合気会＝前田悠翔◆友遊カレッジ＝ソフィア合気道教室＝佐藤尚美◆白濁道場＝横田親◆延心館道場＝岡本拓也◆合心館谷本会＝高橋知花、垂水栄二◆合気道自然会＝池田真徳◆旭川道場＝中村翔一◆HIJYAMA教室＝一府山和哉、杉田知久◆合気道二葉教室＝久留和太◆正心会船橋栗門道場＝菊池優嘉◆萬葉塾＝満越淑子、峰岡沙夜◆高取国際高等学校＝井上晃佑、扇田暖海、岡純矢、窪田実来◆狭山ヶ丘中学高等学校＝中村悠吾、池田梨々花、田中成朋、佐藤成枝◆二松学舎大学附属高等学校＝堤晴香、山根希、岸邊聖莉穂、豊田滯、船橋真帆、工藤佐和、高山かほ、笠川クリストフ◆多摩大学目黒中学校高等学校＝高原成矢◆奈良工業高等専門学校合気道部＝杉澤善一、山中梨央、中野劉建、木村要一、稲富里咲◆山口大学＝河合匠汰、桑引陽奈、植藤美里、松浦真依◆関西学院大学体育会合気道部＝守屋耕平◆若手大学＝渡邊大輔◆京都教育大学＝東口来未◆九州工業大学＝日名子京裕◆九州大学＝佐久間力◆松山大学＝御堂煌太◆上智大学(ソフィア合気会)＝山本風羽◆新潟大学＝川田輝◆神戸大学医学部＝栗山遥夏◆西南学院大学＝野村弘曜◆大阪教育大学＝塩崎未羽、横谷怜士◆大阪大学体育会合気道部＝新宮正大◆大分大学＝松縄育、西山倅生、羽鳥竣雄◆中央大学＝吉川

美瑠、大堀佑弥、牟田歩果、秋葉創太、櫛田陽花、片岡楓月、佐田新澄、坂本和香奈、佐瀬喜尚◆北海道大学＝新開光将◆名城大学＝木村泰地◆福井大学＝宮本真央◆立教大学＝呉雨倫、渡邊京香、宗像光里、柏友紀乃、黒岩花歩、長谷川香苗◆神戸大学合気道部＝永野晴美◆京都大学体育会合気道部＝田邊希海、山元康太郎、島崎玲、酒井彪雅、小林優、片田裕輝◆滋賀医科大学合気道部＝竹村舞織、小宮山由梨、増田佳奈、山田和花、堀川喜帆、金澤萌々子、團野美優、北村幸大、川口友維◆関西大学体育会合気道部＝天羽悠月、川上瑛央、栗山悠太、近藤ひなた、夏目優香、新田伊織、矢野照汰、伊保輝志、沼幸輝、宮崎翔平◆立命館大学体育会合気道部＝山森一輝◆同志社大学体育会合気道部＝山本倫央◆東京大学＝武田建哉◆東京都市大学＝佐久間麻妃◆GERMANY＝K. Frank, F. Greipel, M. Menacher, M. Reinhardt, T. Schwarz, H. Thormann, T. Wieland, S. Israel, N. Goroch, M. Dieterle, A. Wichmann, J. Roessler, D. Haprich, I. Pasdarca, S. Borghoff, P. Heus◆DENMARK＝T. Mikkelsen, K. Hammeleff◆SWEDEN＝A. Zager, C. Siebert, L. Dufeu, N. Sasse◆FRANCE＝A. Mlyneczek, P. Ladieu, N. Barolle, N. Minvielle, P. Barrielle, F. Hermann, M. Cretin, I. Dupuis, T. Gauthier, L. Sagard, A. Miaaraf◆BRAZIL＝L. Melo, C. Oliveira, R. Ernani, F. Silva, M. Filho, D. Trevisan, J. Cox, M. Gabriel, G. Jorge, R. Machado, L. Gonçalves, L. Gavioli, D. Martinez, M. Segreto, P. Nishimura, S. Fernandes, V. Pinheiro, A. Simoes, R. Azevedo, D. Ferraz, D. Santos, J. Tamaki, M. Azevedo, N. Duarte, L. Moura Jr., C. Novoselitchi, M. Santos, C. Alves, A. Sampaio, A. Correia, Y. Soledade, V. Souza, C. Toledo, K. Gomes, J. Filho, E. Santana, A. Isabel, J. Belo Jr., R. Mendes, J. Machado◆U.S.A.＝B. Li, P. Hernandez, G. Casazza, G. Casazza, T. Runge, M. Kosuda, S. Arabandi, E. Bordon, V. Truong, C. Wiedemann, C. Gagnon, U. Gunawan, H. Stevenson, J. Agasi, T. Brosten, C. Schmid, D. Vinokurov, E. Smith, N. Fallas, R. Medina, Y. Chourio◆AUSTRIA＝F. Schreiber, M. Tzitzilaki◆MONTENEGRO＝I. Ilic◆U.K.＝O. Kapinos, C. Jones◆TURKEY＝A. Aghababayev, O. Sarialioglu, P. Fadiloglu, D. Korkmaz, 樋口洋子◆UZBEKISTAN＝A. Sattarov, O. Yoqubjanov, Z. Zaynitdinov, A. Shifershteyn◆RUSSIA＝A. Gamov, A. Lavrenkova, M. Maximovich, S. Malmygin, I. Markov, Z. Akbarov, B. Shabdanbekov, A. Ismailov, A. Matkarimova, A. Gribkov, F. Sidorov, P. Rudometkin, M. Vasilev, L. Simonov, P. Naumov, N. Glushkov, K. Sheptitsky, K. Sheptitsky, M. Grekis, I. Starovoitov, K. Zhukov, I. Istratov◆SLOVAK＝L. Brosko◆SPAIN＝R. Herrero, S. Gonzalez, N. Sanz, S. Garcia, J. Martinez, A. Andres, S. Henze, P. Plugge, M. Sebastian, A. Gonzalez, L. Diez, P. Ortiz, V. Menchon, F. Blanco, C. Veas, M. Veas, D. Lopez, B. Diaz◆PERU＝J. Dahlqvist, M. Ricse, A. Pinto, O. Salcedo◆ITALY＝W. Balon, D. Buscatti, G. Cordioli, V. Giannini, D. Morbidi, Y. Takaki, R. Scrofano, R. Huot, L. Auger◆GREECE＝M. Kavouklis◆MALTA＝S. Williamson, K. Ivanov◆PUERTO-RICO＝M. Alicea◆POLAND＝M. Wozniak, H. Andrusieczko, P. Poskropek, P. Jakubowski, J. Kowalski, V. Nikolaiev, P. Lozi, V. Poloniowa◆NETHERLANDS＝T. Asperen, A. Mekes◆MEXICO＝M. Lopez, C. Torres, D. Navarrete, M. Rios, E. Manrique◆U.A.E.＝S. Aydintan, J. Stearns◆BULGARIA＝L. Vasilev, V. Kolev, T. Utsev, D. Ninova, K. Georgiev, M. Mihaylov, R. Toromanov, Y. Mirchev◆SRILANKA＝A. Jayasundera, S. Premakumara, V. Kumarawansa, R. Godahewa, R. Fernando, A. Kahawatta, W. Lakshman, S. Sithurshika, I. Fernando◆FINLAND＝M. Pottonen, J. Sjoblom◆HUNGARY＝T. Benczedi, T. Trencsenyi, K. Balazs, G. Golen, P. Adori, J. Lenard, R. Tamasek, A. Szegletes◆SINGAPORE＝H. Hieu, S. Lee◆UKRAINE＝T. Markina, I. Mula, D. Shevchuk, R. Romanyuk◆BELGIUM＝A. Degroote, J. Schoonjans, W. Devisch, S. Gierch, S. Stroobants◆CZECH＝O. Molkano, P. Rybnicek, Z. Koutny, V. Novak◆中華民国台湾＝張展瑜、高子軒、高子宸◆ROMANIA＝C. Cioranu, P. Badarau◆VIETNAM＝N. Long, M. Phuoc◆CANADA＝J. Simard, J. Larouche, J. Webber◆ARGENTINA＝R. Proano, F. Bastidas, C. Disla, R. Villareal, L. Tore, H. Cordoba, P. Stoll, M. Rivera, A. Martin, S. Ginbert, C. Ginbert, D. Miranda, O. Jofre, E. Isern, M. Gutierrez, A. Aldana, C. Orrillo, C. Bobeda, M. Tognoli, A. Lorenzi, G. Sanz, G. Heerdink, G. Scaffeo, I. Barba, E. Gomez, A. Allen, P. Caleo, N. Stepinak, J. Revel, T. Vari, L. Kopitzke, S. Raedt, S. Mori, A. Charlot, D. Tutov, V. Parton◆BELARUS＝A. Houzbit, A. Kaleinik, I. Tserashchuk◆SWITZERLAND＝G. Gonin◆GREECE＝N. Paschou, A. Tziridou, M. Nikolaidou, D. Karoglou